

MUGA TIMES

No.
352018年
夏号【発行日】 2018年7月18日
【発行人・編集人】 大久保むが

6月定例会



6月定例会(6/5～6/13)が開催されました。

今議会では公の施設の受益と負担のあり方に基づいて、市当局より各種施設の使用料の値上げおよび学校施設の使用の有料化についての条例案が提案されました。

これについては昨年度より議論が行われており、議会の中でも議論が続いてきました。

当局の立場として、市内に存在する施設の維持管理にかかる費用を、市民全体の負担から利用者が限られている施設はいわゆる応益負担の割合を高める内容であり、将来的なサービスの維持を考えるのであれば、その施設を維持していくかねばならないことを考えると、やむを得ないという判断がありました。

議会の側としては、厳しい財政状況を理解しつつも、現在使用している人たちに対して過剰な負担感にならないように配慮を求めたり、値上げ幅を最小限にとどめる事を提案しました。結果として施設の利用が減少しては意味がないことや、これまでより使いやすい施設にするために、時間を細かく区切ったり、料金体系を見直すなどして、よく使う人ほど負担が増すという状況にならないように議論と提案を並行して行ってきました。



4・5・6月活動記録

4月

- 7日 小学校ヘルパーさんとの花見
- 10日 中学校入学式
福岡市教育委員会指導部から聞き取り
党福岡県連幹事長会議
- 11日 小学校入学式
- 13日 市議会 会派団会議
議会運営委員会
- 14日 党福岡9区総支部常任幹事会
- 15日 第34回の場池弓道場開設記念大会
- 16日 若松区養生風力発電事業視察
- 17日 奈良出張
- 19日 市議会 議会運営委員会
- 21日 ワールドラグビー女子セブンス 観戦
- 22日 体験型防災アトラクション
県議会議員岩元かずよし後援会総会
- 25日 市議会 教育委員会視察
- 26日 党福岡県連広報委員会
- 27日 吉祥寺藤まつりゴミ拾いボランティア
- 28日 第89回メーデー
吉祥寺藤まつりゴミ拾いボランティア
北筑高校野球部後援会総会
- 29日 引野ひまわり学園清掃ボランティア

5月

- 7日 地方自治体議員フォーラム（東京）
- 9日 市議会 教育文化委員会

6月

- 11日 市議会 会派団会議
党福岡県連青年委員会
- 13日 河内クリーンウォーク
洞南四地区地域交流会
- 14日 さつき盆栽鑑賞会
- 15日 市議会 教育文化委員会行政視察
- 16日 市議会 教育文化委員会行政視察
- 17日 市議会 教育文化委員会行政視察
- 19日 連合福岡青年委員会政治学習交流会
古典落語を守る会 総会
- 20日 党福岡9区常任幹事会
政策制度フォーラム
- 21日 岩元かずよし後援会
グラウンドゴルフ大会
- 22日 八幡西区議員協議会
- 23日 地域企業団体 総会＆市政報告
- 25日 市議会 会派団会議
市議会 6月議会勉強会
- 26日 撻川ホタル祭り
香月黒川ホタル祭り
- 27日 小学校運動会
- 29日 市議会 議会運営委員会
上京
党全国青年委員会
- 30日 小学校放課後児童クラブ運営委員会
- 1日 市議会 議会運営委員会
党県連 広報委員会
- 2日 折尾まつり
- 3日 NPO奨学金受給学生決定くじ引き会
- 5日 市議会6月定例会
- 6日 市議会6月定例会
- 7日 市議会6月定例会
- 8日 市議会6月定例会
党福岡9区 選対委員会
- 9日 党福岡9区 選対委員会
- 10日 まち美化キャンペーン
政治学習会
- 11日 市議会6月定例会
市議会 議会運営委員会
党福岡県連 青年委員会
- 12日 市議会6月定例会
市議会 議会運営委員会
タブレットデモンストレーション
- 13日 西日本製造技術イノベーション展
- 14日 市議会政策立案支援事業勉強会
- 15日 党福岡9区 常任幹事会
- 20日 市議会 議会運営委員会
小学校学校評議会
- 24日 党福岡県連 結党大会
- 25日 労働組合 新人研修会にて市政報告
- 26日 市議会議員森ひろあき政経セミナー
- 30日 ギラヴァンツ北九州 観戦



北九州市が治安が悪いまちだといふのは

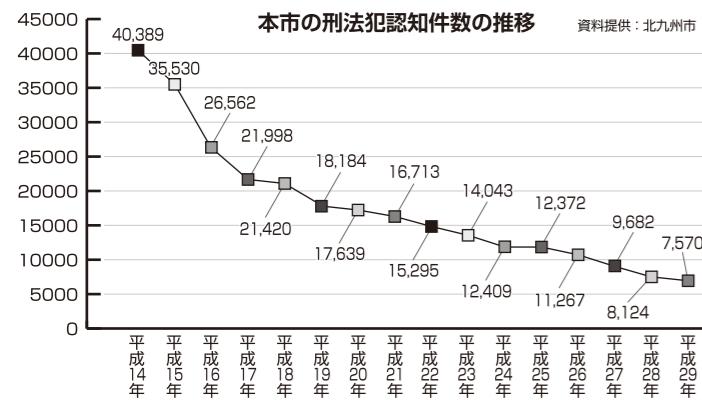
私たちの住む北九州市は、よく治安が悪いと言われます。そうした負のイメージ払拭することが北九州市のイメージを変えることに直結していると考えます。

これまでこの市政レポートで2回にわたって北九州市の治安状況についてご報告してきました。今回はさらに多くのデータをご紹介し、本市の犯罪発生状況について考えていきたいと思います。

激減！ 北九州市での刑法犯認知件数

本市の刑法犯認知件数は、過去最悪だった平成14年の40,389件から減少し始め、平成29年に7,570件まで減少しました。これは全国的に同じ傾向であり、警察をはじめ関係する団体などの多くの努力の積み上げでこのような大きな成果に繋がっています。この傾向がこれからも続いていくように取り組みが必要です。

* 認知件数とは警察等捜査機関によって犯罪の発生が認知された件数をいう。認知件数と実際の発生件数は一致しないことが多いが（その差を暗数という）、公的に認知された発生件数という意味において、認知件数は単に発生件数ともい（ウィキペディア）



データで見ればわかる

“北九州市が全国一治安が悪い”のウソ

全国的に“治安が悪い”とされる北九州市ですが、全国の政令指定都市と比較してみればどうなのでしょうか？

次のデータは、10万人当たりの刑法犯認知件数を比較したもので、人口の多い少ないに関わらず計算されますので、比較しやすいデータとなります。

昨年度は多いほうから10番目、本年度は同9番目と、政令指定都市比較では中位となっています。

平成29年の人口10万人当たりの刑法犯認知件数(単位：件数)

順位	都市名	件数
1位	大阪市	1,804
2位	名古屋市	1,132
3位	福岡市	1,042
4位	堺市	1,038
5位	神戸市	990
6位	千葉市	977
7位	京都市	867
8位	さいたま市	848
9位	北九州市	797
10位	岡山市	744
11位	仙台市	736
12位	新潟市	702
13位	札幌市	674
14位	相模原市	668
15位	広島市	635
16位	静岡市	609
17位	熊本市	597
18位	浜松市	558
19位	川崎市	556
20位	横浜市	537

資料提供：北九州市

もう古い！

福岡県内では福岡市での犯罪が多い

次の表は、福岡県内での地区ごとの刑法犯認知件数を上位から示したもので、昨年に引き続き福岡市中央区や博多区などの繁華街での犯罪が多く、小倉北区も同様に上位に入っています。

順位	市区町村名	刑法犯合計
1位	福岡市中央区	3,632
2位	福岡市博多区	3,441
3位	福岡市東区	2,763
4位	北九州市小倉北区	2,449
5位	久留米市	2,297
6位	福岡市南区	2,011
7位	福岡市早良区	1,740
8位	北九州市八幡西区	1,736
9位	福岡市西区	1,545
10位	北九州市小倉南区	1,426

資料)福岡県刑法犯市区町村別認知件数 より

減少率は全国No.1!!

刑法犯認知件数の減少率(H14-H29)の上位からの一覧 単位(件)

順位	市名	平成14年	平成29年	減少率
1位	北九州市	40,389	7,570	81.3%
2位	広島市	31,777	7,619	76.0%
3位	横浜市	72,094	20,046	72.2%
4位	川崎市	30,102	8,376	72.2%
5位	福岡市	57,578	16,361	71.6%
6位	仙台市	27,639	7,999	71.1%
7位	神戸市	50,895	15,165	70.2%
8位	堺市	28,552	8,659	69.7%
9位	千葉市	30,295	9,532	68.5%
10位	京都市	40,243	12,770	68.3%
11位	名古屋市	81,887	26,212	68.0%
12位	札幌市	40,472	13,237	67.3%
13位	さいたま市	29,160	10,958	62.4%
14位	大阪市	125,764	48,977	61.1%
政令市平均(14市)		49,061	15,249	68.9%
全国		2,853,739	242,448	91.5%

資料提供：北九州市※平成14年時点での政令指定都市だったところを比較

このイメージを払しょくする唯一の方法であります。

しかし、本市から犯罪がなくなったというわけではありません。

現に日々犯罪被害者となってしまう方たちもあり、こうし

た方たちへの支援や、犯

罪機会論に基づく犯罪

が起こりにくい環境整

備、さらに警察、地

域、行政や議会などが知恵

を出し合い、さらに住み

よいまちへと繋がるよ

う努力を重ねていかね
ばならないと考えます。



【スポーツが北九州市にもたらす可能性】

北九州市は、国際スポーツ大会誘致をきっかけとして、市のイメージアップと、市内にぎわい・活性化につなげていく事を目標にしています。

これまでの施策では「する」に重点が置かれていましたが、新しいスポーツ振興計画では、スタジアムの完成という市のスポーツ施設の転換点を迎えたことで、この「する」に加えて、一流のアスリートが活躍する姿を見る、指導者やボランティアなどを「創造する」、スポーツが体にもたらす効果やその歴史を「学ぶ・伝える」という要素が盛り込まれるようになりました。

世界有数の選手が参加した卓球「荻村杯」

さて、最近開催された中でも記憶に新しいのが、4月に開催されたワールドラグビー女子セブンズシリーズと、6月に開催された「2018 ITTFワールドツアー 卓球ジャパンオープン」です。ラグビー、卓球と、それぞれ世界レベルの選手の参加に大変な盛り上がりを見せました。

卓球の「荻村杯」では、本市出身の早田ひな選手など、トップクラスの日本勢がしのぎを削る大会でした。準決勝・決勝が行われた土曜・日曜はチケットが完売し、総計12,600人が北九州市総合体育館へと足を運びました。



北九州市がキャンプ地に

国内ではラグビーワールドカップ2019・日本大会、そして2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。どうせ北九州市には関係ないんでしょう？と思われる方、実はこれら2つの大会と北九州市は無縁ではないんです。

北九州市では、過去の大規模大会誘致の実績を活かして、それぞれの大会で北九州市をキャンプ地に選んでもらえるよう誘致活動を行ってきました。

その甲斐あって、ラグビーワールドカップ2019・日本大会では、イギリスのウェールズ代表チームの公認キャンプ地に内定しました！

さらに、2020年東京オリンピック・パラリンピックにおいては、2017年にこれまで親交を深めてきたタイ王国の卓球協会と、さらに2018年に同テコンドー協会とキャンプ実施に関する覚書を締結しました。既に荻村杯の開催にあわせてタイ王国のユースチームが本市でのトレーニングキャンプを行っています。

市内で続く大規模国際大会

2016年度から本年にかけて、市内で開催された、または開催予定の主な大規模国際大会

年 度	誘致状況
2016年度	○「2016 パラ・パワーリフティングジャパンカップ」（6月） ○「世界ダンススポーツ選手権ユース・スタンダード2016」（7月） ○「JAPAN RUGBY DREAM MATCH 2017」（2月）
2017年度	○「HSBCワールドラグビー女子セブンズシリーズ」（4月） ○「2017 パラ・パワーリフティングジャパンカップ」（7月）
2018年度	○「HSBCワールドラグビー女子セブンズシリーズ2017-2018 第3戦」（4月） ○「2018 ITTFワールドツアー 卓球ジャパンオープン荻村杯・北九州大会」（6月） ○「2018 ワールドパラ・パワーリフティング アジア&オセアニアオープン選手権大会」（9月）



見るスポーツからの展開に期待

このように、国際的で大規模な大会が次々と開催されたり、キャンプなどが行われるようになると、当然私たちはその大会にさまざまな関り方をすることになります。

観客として見に行く人はもちろんのこと、ボランティアや関係者として参加する人、結果としてその競技に興味をもつたり影響を受けたりして、始める人、調べる人へとつながっていくことを。

一流のスポーツを見るということから繋がる新しい展開には大いに期待するところであり、スポーツ施設が充実してきたことにより、本市におけるスポーツ文化が新しい段階へと移ってきたのではないかと思います。

これを良い流れと捉え、本市でスポーツを行う人、見る人、関係者、とさらなる展開へ結びつけていかねばなりません。

